

氏名	丸岡 弘	部署	理学療法学科	職名	教授
研究分野	内部疾患理学療法学、運動生理学				
学位	博士(学術)、修士(工学)				
学歴	1989年芝浦工業大学、1994年日本大学大学院理工学研究科医療福祉工学専攻博士前期課程、2001年博士(学術)(乙)(日本大学 第5932号)				
経歴	1983年多摩丘陵病院、1984年埼玉県総合リハビリテーションセンター、1993年埼玉県立循環器病センター(仮称)準備事務所、1994年埼玉県立循環器・呼吸器病センター、2000年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科講師、2005年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科助教授、2009年埼玉県立大学保健医療福祉学部理学療法学科教授、2009年埼玉県立大学院保健医療福祉学研究科保健医療福祉学専攻教授				
所属学会(役職)	日本理学療法士協会、日本運動療法学会、日本心臓リハビリテーション学会(評議員)、理学療法科学学会、日本臨床生理学会、日本心臓病学会、日本運動生理学会、日本補完代替医療学会				

### 【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	The effect of simple lymph drainage is on the living body	共著	J Phys Ther Sc;29; P115-118	Kazuhiisa INOUE, Hiroshi MARUOKA	2017.1
2	急性心筋梗塞患者の身体活動に関連する因子について—入院期諸因子と回復期身体活動との関連性—	共著	理学療法—臨床・教育・研究;24:23-30	岡和博、丸岡弘、大熊克信、五味川右、中村智弘、石田岳史	2017.3
(3) 学会発表					
1	慢性閉塞性肺疾患における運動時の心機能について	共同	第51回日本理学療法学会大会、札幌市	善田督史、馬島徹、清藤晃司、野島永司、武原裕、川口雅貴、村山りな、府川泰久、森居健一、高橋泰子、丸岡弘	2016.5
2	男性急性心筋梗塞患者の就労状況による予後規定因子の比較	共同	第51回日本理学療法学会大会、札幌市	小川明宏、丸岡弘、寺山圭一郎、秋葉崇、土谷あかり、清水一寛、中神隆洋、清川甫、中川晃一	2016.5
3	慢性閉塞性肺疾患の労作時低酸素血症と心機能の関連	共同	第53回日本リハビリテーション医学会学術集会、京都市	善田督史、馬島徹、清藤晃司、武原裕、丸岡弘	2016.6
4	虚血モデルマウスにおける血管新生から見た運動やビタミンC摂取の影響	共同	第22回日本心臓リハビリテーション学術集会、東京	丸岡弘、金村尚彦、国分貴徳、田中健一、村田健児、松本純一、善田聡史、石神昭人	2016.7
5	運動時心エコーにおけるCOPD患者と若年健常者との比較	共同	第53回日本臨床生理学会、東京	善田督史、川口雅貴、森居健一、府川泰久、村山りな、丸岡弘	2016.10
6	等尺性収縮運動におけるCAVIと心拍出量への影響	共同	第53回日本臨床生理学会、東京	小川明宏、清水一寛、山本智幸、秋葉崇、白井厚治、丸岡弘	2016.10
7	簡易リンパドレナージが生体におよぼす影響について—更年期障害を対象に—	共同	第35回関東甲信越ブロック理学療法士学会、横浜市	井上和久、丸岡弘	2016.10
8	健康成人における運動効果—第2報—	共同	第25回埼玉理学療法学会、さいたま市	井上和久、丸岡弘、原和彦	2016.11

(4) その他				
1	該当なし			
2. 競争的資金等の研究				
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間	
1	科学研究費補助金(基盤研究C)	虚血モデルマウスにおける血管新生や酸化ストレスから見た運動やビタミンC摂取の影響(研究代表者)	2014.6~2017.3	
2	埼玉県立大学奨励研究費(学長指定研究)	心疾患患者維持期における心臓リハビリテーション集団運動療法の実施についての試み(研究分担者)	2014.6~2017.3	
3	埼玉県立大学奨励研究費(C)	虚血下肢が酸化ストレスにおよぼす影響(研究代表者)	2015.4~2016.3	
3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	心肺系理学療法学	2016.4~2017.3	授業評価を基にした講義と実習内容の改善を行った	
2	腎代謝系理学療法学	2016.4~2017.3	授業評価を基にした講義と実習内容の改善を行った	
3	臨床心電図解析演習A、臨床心電図解析演習B	2016.4~2017.3	心電図を学ぶために工夫した演習と実習の実践	
4	理学療法症候障害論	2016.4~2017.3	内部疾患領域に関するグループ討議の実践(大学院博士課程)	
(2) 演習				
1	卒業課題研究	2016.4~2017.3	学生主体による研究課題の実践(保健医療福祉学部)	
2	地域リハビリテーションⅡ	2016.4~2017.3	グループ討議・実習の実践	
3	神経障害理学療法実践テュートリアル	2016.4~2017.3	テュートリアル教育の実践・専門科目への展開	
4	内部障害理学療法実践テュートリアル	2016.4~2017.3	テュートリアル教育の実践・専門科目への展開	
5	循環系理学療法の臨床実践	2016.4~2017.3	デモンストレーションと実技指導によりわかりやすい授業の実践、学習到達目標を踏まえた実習の実践	
6	理学療法セミナー(OSCE1)、理学療法セミナー(OSCE2)	2016.4~2017.3	学外の臨床実習前における理学療法統合化の実践	
7	博士論文特別研究	2016.4~2017.3	院生主体による研究課題の実践(大学院博士課程)	
8	理学療法症候障害論演習	2016.4~2017.3	研究方法を学ぶために工夫した演習の実践(大学院博士課程)	
9	リハビリテーション学特別研究	2016.4~2017.3	院生主体による研究課題の実践(大学院修士課程)	
(3) 実習				
1	内部障害理学療法学実習	2016.4~2017.3	授業評価を基にした講義と実習内容の改善を行った	
2	臨床教育実習Ⅰ、臨床教育実習Ⅱ、臨床教育実習Ⅲ(前半・後半)	2016.4~2017.3	学外の臨床実習を通じて、理学療法統合化の実践	
(4) 論文指導				
1	学位(修士)論文指導	2016	指導教員:1名、副指導教員:1名	
2	学位(修士)論文審査	2016	主査:1名	
3	学位(博士)論文指導	2016	指導教員:3名	
4	卒業課題研究指導	2016	指導教員:2名	
(5) その他				
1	ゼミの開催	2016.4~2017.3	適宜ゼミを開催し、学生指導を行った	
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	日本医業経営コンサルタント協会セミナー	日本医業経営コンサルタント協会	運動と食品摂取による健康増進と障がい予防	2017.1
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言				
	メディア等の名称	内容	年月	
1	該当なし			

5. 学内運営(委員会委員)			
1	研究推進委員会委員		
2	共同実験管理部会(部会長)		
3	名誉教授審査委員		
4	地域専門職連携推進部会員		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		